



七松小学校 学校だより

平成30年度
5月号
尼崎市立七松小学校
学校長 森本秀子



☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

子は親の鏡

朝、通勤途中に、校区にある公園でツツジの花を見ました。微妙に濃さの違うピンク色の花が、美しいグラデーションを描いています。一年にこの時期でしか見られない光景に喜びもひとしおです。私たち教師も、新しい子どもたちとの出会いの喜びを胸に、子どもにとって最大の教育環境になるよう全力で取り組んでいます。

先日の授業参観・懇談会へのご出席、ありがとうございます。進級した2年生から6年生までの子どもたちは、新しい環境で皆やる気いっぱいに学習や運動に励んでいます。4月10日に入学式した61名の1年生も「1年生を迎える会」を終え、少しずつ学校生活に慣れてきています。毎朝、校門で子どもたちを迎えていると、「おはようございます」と1年生の元気でかわいい声が響きます。あいさつはお互いが元気になる「心のオアシス」ですね。今年も「凡事徹底」（あたりまえのことをあたりまえにする）3つの「あ」（あいさつ・あつまり・あとしまつ）を生活のキーワードに全校で取り組んでまいります。

さて子どもの成長には学校だけでなく家庭と手を携えて子どもの健全な育成に努めることが必要です。ことわざに「子は親を映す鏡」があります。その意味は、子どもの考え方やその行動は、親が何を大切に、どのような生活をしているかが、そのまま、子どもに影響を与えることだと言われます。私が感銘を受けた詩に、ドロシー・ロー・ノルト著『子は親の鏡』という詩があります。1954年に出版された古いものですが、世界の多くの国でベストセラーになった子育てバイブルです。「励ましてあげれば子どもは自信を持つようになる」「誉めてあげれば子どもは明るい子に育つ」「愛してあげれば子どもは人を愛することを学ぶ」「子どもに公平であれば子どもは正義感のある子に育つ」など、子育てで大切にすることや、どんな親になれば良いかを考えるヒントになり、教師としても学ぶべきものも多くあります。私は、「子どもを信じ抜き、励まし、誉めて育てる」ことを大切にしていきたいと考えています。そして教師、保護者がお互いに“子どものために”を念頭におき、何でも語り合い、理解・協力し合える七松小学校を築いていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

- ・新しく**外国語の教室**ができて外国語専科の木村恭一先生が、ALTとJTE（日本人外国語補助員）と共に外国語の授業を行っています。3年生以上が学んでいます。
- ・本校は、毎週月曜日が**定時退勤日**で、午後5時15分までに職員は帰ります。ご理解の程、よろしくお願ひします。
- ・学校の教育活動をよりよく知っていただくため、**HPの充実**に努めております。児童の様子を写真等で掲載させていただいておりますが、もし不都合のある場合には担任の方までお知らせいただきますよう、よろしくお願ひします。